



今井宏毅議員

子ども政策及び学校運営について。

町長
認定こども園新設・児童生徒の確保に努める。

料費の高騰など厳しい経営が続いている。意欲を持つて農業に取り組める環境整備、地下ダムの完成による畑かん営農形態を中心に関係機関一体となって取り組む。平成26年度から奄美群島輸送コスト支援事業により、出荷体制の確立と輸送コストが軽減され生産農家の経営コスト高が克服できる。

②老人に対する政策について。

新年度に向けた町長の政策。

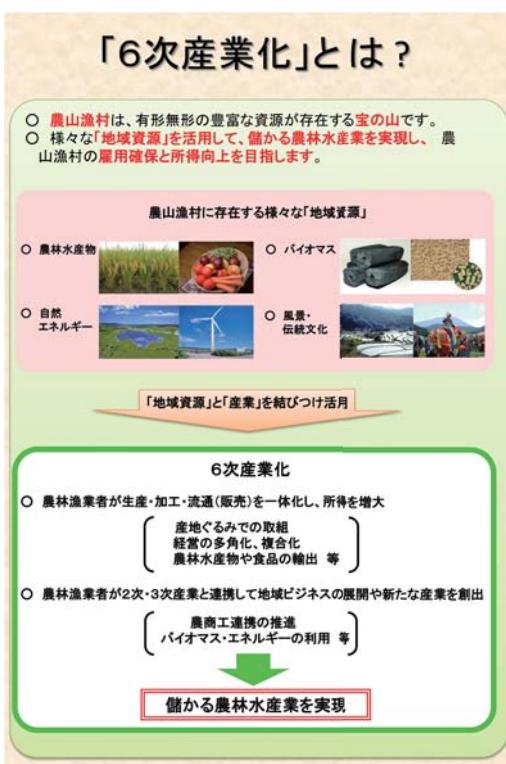
①子どもに対する政策について。

町長|| 今回提案している出産祝い金の増額や拡充、平成26年度は子育て世帯臨時特例給付事業、継続する医療費助成事業の補助を予定して、更に知名・下平川の認定こども園の新設を取り組む。

③農業面における政策について。

町長|| 台風や干ばつ等の気象災害、長引く景気や価格の低迷、各種生産資材や燃

教育長|| 学校の運営実態については、平成30年度までの生徒の確保は、田皆・住吉・上城とも現状の生徒は確保できるものの今後は、地域、保護者、関係機関と連携を取り今後の学校運営全体を進めたい。



農林水産省 6次産業化パンフレットより

6次産業化に向けた町長の方針を伺いたい。

①計画はあるのか、あればいつ頃から始めるのか。
②設置に伴う施設内容、設置場所は。
③加工商品には地元のどういった物を使用するか。

町長|| 2月25日現在、鹿児島県町村会長として全国町村会の充て職^(※)は全国町村会幹事、経済農林委員会の政務調査委員等59団体の役職を努めていたが現在は大幅に減っており情報収集が心配される。

町長は現在役職をどれだけしているか伺いたい。

町長|| この県道の整備については、平成23年度までに線形不良区間の280mについて道路改良を終えています。今後の整備計画については、県の財政と当地区のようにならが密集し、多額の用地補償費を要する所は現在の県の財政では厳しい。しかしながら本地区は児童生徒の通学路として利用されており、引き続き地元と一緒にとなり、早期事業採択に向け要望したい。

県道整備について。知名の状況、今後の計画を伺う。
○ 国頭空港線田皆字内整備



(注) 充て職

ある役職に就いている人が自動的に兼任する役職のこと。